（添付資料1）

***（注）添付資料1は外部有識者による事前審査に付されますので、審査材料として十分な内容を記述してください。ただし、外部有識者に提出したくない内容は、本紙には概要のみを記入し、詳細は添付資料４に記載してください。（この場合、本紙に記入する概要が簡略すぎると、評価者の判断材料が不足し、評価が低くなる恐れがあるので注意してください。）***

助成事業実施計画書

**１．実施計画の細目**

(1)事業目的、目標及び事業による効果

①事業目的

***マーケットの現状及び将来の規模、競争環境等について具体的かつ簡潔に説明してください。***

②事業目標

***技術開発の目標と現状の水準との対比を数値で記入するなど、具体的かつ簡潔に説明してください。この目標が妥当であることを記載してください。また、国内外の技術動向や既存の技術との関連等について、具体的かつ簡潔に説明してください。***

***さらに、NEDOの基本計画を達成するために基本計画と技術開発テーマとの関係ならびに技術開発テーマがもたらす、設定された目標の達成に対する有効性について、できるだけ定量的に記述してください。***

***共同提案の場合、それぞれの理由等を明示してください。***

　　③事業による効果

***一般的に期待される効果に加えて、助成事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等、様々な形態を通じ、我が国の経済再生に如何に貢献するかについて、バックデータも含め、具体的に説明してください。また、費用対効果について可能な限り定量的な記載を求めてください。***

(２)事業概要

***(3)事業内容の概要を簡潔に記載してください。***

(3)事業内容

***①××××の検討（担当：□□□株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***②××××の試験（担当：△△△株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***③××××の設計（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***④××××の製作（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***⑤××××の開発（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***⑥××××の評価（担当：国立研究開発法人▽▽▽）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***⑦××××の海外調査（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***⑧××××委員会の開催（担当：○○○株式会社）***

***・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・***

***[留意事項]***

***研究開発に対する助成（補助）であるという性質に鑑み、(1)②の事業目標を達成するために必要な研究開発の必要性、内容を説明してください。***

***また、事業内容については少なくとも以下の検証項目に対する内容を含む、本事業で取り組む内容について明確に記載ください。***

* ***サプライチェーンモデルの構築***

***①原料調達プロセス***

***（原料の入手の可能性と継続性、想定する入手先（輸入を含む）、契約、コスト、法規対応、利用実績等の知見や調査による、実証の期間およびそれ以降の原料の安定調達について。）***

***②純バイオジェット燃料製造以降のプロセス***

***製造場所、製造規模、製造プロセス等を含めた製造に係る諸条件の検証、製造に係る詳細設計、品質管理、輸送　（ＡＳＴＭ　Ｄ７５６６の認証が未取得の技術にあっては、取得までの計画を含む）***

***③純バイオジェット燃料の混合以降のプロセス***

***純バイオジェット燃料と従来ジェット燃料との混合、混合後の品質保証体制、混合前および混合後の燃料の運搬・保管、使用先施設への供給等の方法。***

* ***事業性評価***

***④環境影響評価***

***ICAOの各算出方法に基づく化石エネルギー収支、温室効果ガス削減効果、土地利用変化、生物多様性への影響等についての検証。***

***⑤製造コスト評価および事業性評価***

***多様な純バイオジェット製造技術のうち先行するHEFA技術によるバイオジェット燃料価格に対し競争力のある製造コストの実現性、および事業持続可能性。***

* ***事業化計画***

***⑥助成事業終了後の事業化計画***

***ただし、サプライチェーンモデルの構築①～③のうち、①、②は必須とし、③は純バイオジェット燃料と従来ジェット燃料との混合プロセスや、混合プロセスの想定される実施場所などの特殊性を勘案し、その必要性に応じて実施することとするが、事業性評価および事業化計画には本範囲を含むものとする。***

***技術開発で克服すべき課題とその問題を解決する手段、今回の開発で達成できるレベルを、明確にかつ簡潔にできるだけ図表を使用して記入してください。共同提案の場合、それぞれの役割分担等を明示してください。***

***また、提案する技術開発内容の新規性、独創性、優れていると考えられる点を記載してください。***

(４)事業の範囲

***・関連するステークホルダー、サプライチェーン全体における事業の対象範囲、（３）に記載の各事業者等の実施内容の分担（範囲）について図示（ポンチ絵）してください。***

**２．実施計画**

***上記「１.(3)事業内容」であげた***

***各技術開発項目の実施計画***

***を記載してください。***

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業項目 | 2020年度 | | | | 2021年度 | | | | 2022年度 | | | | 2023年度 | | | | 2024年度 | | | | |
| 第1  四半期 | 第2  四半期 | 第3  四半期 | 第4  四半期 | 第1  四半期 | 第2  四半期 | 第3  四半期 | 第4  四半期 | 第1  四半期 | 第2  四半期 | 第3  四半期 | 第4  四半期 | 第1  四半期 | 第2  四半期 | 第3  四半期 | 第4  四半期 | 第1  四半期 | 第2  四半期 | 第3  四半期 | 第4  四半期 |
| ***①×××の検討***  ***②×××の試験***  ***③×××の設計***  ***④×××の製作***  ***⑤×××の開発***  ***⑥×××の評価***  ***⑦×××の海外調査***  ***⑧××委員会の開催*** |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

**３．研究開発体制等**

　(1)研究開発体制図

【委託先】

○○○株式会社

（○○○○を委託）

（○○○○を委託）

（○○○を共同研究）

△△△株式会社

国立大学法人□□□大学

国立研究開発法人▽▽▽

【助成先】

【共同研究先】

(2)助成先における研究体制（別紙１）

(3)委託先及び共同研究先における研究体制（別紙１）

(4)委員会等における外部からの指導又は協力者（別紙１）

(5)提案者情報（助成先のみ）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 提案者 | ○○○株式会社 | △△△株式会社 |
| 資本金 | ○○　円 | △△　円 |
| 従業員数 | ○○名 | △△名 |
| 企業規模 | □大企業  □みなし大企業  □中堅企業  □中小企業  □研究開発型ベンチャー | □大企業  □みなし大企業  □中堅企業  □中小企業  □研究開発型ベンチャー |
| 売上高 | 〇〇億円/年（20●●年度）  〇〇億円/年（20●●年度）  〇〇億円/年（20●●年度） | △△億円/年（20●●年度）  △△億円/年（20●●年度）  △△億円/年（20●●年度） |
| 経常利益※ | 〇億円/年（20●●年度）  〇億円/年（20●●年度）  〇億円/年（20●●年度） | △億円/年（20●●年度）  △億円/年（20●●年度）  △億円/年（20●●年度） |
| 会計監査法人名 |  |  |

※直近３期分の情報をご記載ください。

**４．助成事業に要する費用の内訳等**

　(1)全期間総括表（別紙２）

　(2)助成先、研究分担先、分室総括表（別紙２）

　(3)委託先、共同研究先総括表（別紙２）

　(4)項目別明細表（別紙２）

別紙１



別紙１





別紙２



*（注）*

*※各年度の「助成対象費用の合計」を記入して下さい。*

*※委託先又は共同研究先は、助成先の「助成対象費用の合計」の内数として、委託先等の「助成対象費用の合計」を（ ）書きで記載してください。*

*※助成金の額は、千円未満の端数を切り捨てること。*

*※用紙の大きさは、日本工業規格Ａ列４判とし、縦位置とすること。*

別紙２



*（注）*

*※共同提案の場合、提案者毎に作成してください。*

*※項目毎に「助成対象費用」を記入して下さい。*

※Ⅳ．委託費・共同研究費の助成先がＮＥＤＯへ計上する助成対象費用は、消費税抜き額になります。（ただし、委託契約は消費税の課税取引となりますので、助成先と委託先の関係では消費税を加算して精算します。）

別紙２



*（注）*

*※「委託費・共同研究費」、「学術機関等に対する共同研究費」の場合は、事業者毎に「委託先、共同研究先総括表」を作成して下さい。*

*※Ⅰ～Ⅳについては項目毎に「助成対象費用」を記入して下さい。消費税及び地方消費税についてはⅠ～Ⅳに対応する消費税額を記入して下さい。*

*※博士後期課程に在籍する学生を研究員として登録することができます。詳しくは、課題設定型産業技術開発費助成事業　事務処理マニュアルを参照してください。*

*※助成先がＮＥＤＯへ計上する助成対象費用は、消費税抜き額になります。（ただし、委託契約は消費税の課税取引となりますので、助成先と委託先の関係では「総計」にて精算します。）*

*※学術機関等に対する委託費・共同研究費の場合は「間接経費」が積算可能です。*

別紙２



*（注）*

*※複数年度交付決定の場合、年度毎に作成してください。また、共同提案の場合、提案者毎に作成してください。*

*※細目ごとに金額(単価×数量)を記述してください。記載する金額は、消費税抜きとします。*

*※「助成対象費用」には、「助成事業に要する費用」のうち、助成対象とする部分の金額を記入してください。一般には、「助成事業に要する費用」と同額です。*

*※「助成金の額」には、様式第１に記述の補助率に従い、「助成対象費用の合計」に補助率を乗じて千円未満を切捨てた金額を記入してください。*

*※助成先がＮＥＤＯへ計上する助成対象費用は、消費税抜き額になります。（ただし、委託契約は消費税の課税取引となりますので、助成先と委託先の関係では消費税を加算して精算します。）*

*※助成金の額は、Ⅰ～Ⅳ１．委託費・共同研究費の合計に補助率を乗じ、千円未満を切捨てた金額に、Ⅳ２．学術機関等に対する共同研究費を加算した額を記載してください。*

別紙２



*（注）*

*※「委託費・共同研究費」、「学術機関等に対する共同研究費」の場合は、事業者毎に「項目別明細表（委託・共同研究先用）」を作成して下さい。*

*※複数年度交付決定の場合、年度毎に作成してください。*

*※細目ごとに金額(単価×数量)を記述してください。記載する金額は、消費税抜きとします。*

*※「助成対象費用」には、「助成事業に要する費用」のうち、助成対象とする部分の金額を記入してください。一般には、「助成事業に要する費用」と同額です。*

*※「助成金の額」には、様式第１に記述の補助率に従い、「助成対象費用の合計」に補助率を乗じて千円未満を切捨てた金額を記入してください。*

*※学術機関等に対する委託費・共同研究費の場合は「間接経費」が積算可能です。*

*※助成先がＮＥＤＯへ計上する助成対象費用は、消費税抜き額になります。（ただし、委託契約は消費税の課税取引となりますので、助成先と委託先の関係では合計Ｂにて精算します。）*